



左右対称で水平基調のインパネはファーストマスタングから継承される伝統的なコックピット。センターコンソール内のタッチパネルにオプションでナビ対応するなど当時の最新のテクノロジーを絶妙に融合。



搭載されるエンジンは2.3ℓ直4エコブースト。最高出力314hp、最大トルク44.3kg・mを発生させ、マニュアルモード走行も可能なセレクトシフト付きの6速ATで操る。FR駆動初採用となったエコブースト搭載という点も特筆物だ。



ロー＆ワイドシルエットの流麗なスタイリングにマッチするLEXANI 20インチの履きこなしは、止まっている姿はもちろん、躍動感溢れる走行時のビジュアルも最高! これをベースにローダウンを施すのもアリだ。



'15 FORD MUSTANG 50 YEARS EDITION



2・3ℓと侮るなかれ 次世代ポニーカーの大本命

生誕50周年記念モデルとしてリリースされた2015年型マスタング。ロングノーズ&シヨートデッキを継承しつつも、ダウンサイジング志向な当時の時代背景を反映したエコブーストエンジンを搭載。次世代を担う大本命モデルとしての魅力に迫る!

抜群のプロポーションはカスタムベースとしても最適
愛知県春日井市のグレイスキャブといえはクロスファイブにストリートカーシヨナルズなど、カスタムカーシヨアの常連シヨップにしてピンクのキャデラックなど類稀なるセンスで度肝を抜く車両を手掛ける第一人者。その一方で、アメ車ビギナーや若い世代も無理なく乗れる販売車両の取り扱いも意外と多い。紹介するマスタングはまさに後者だ。
2.3ℓエコブーストエンジンは言わずもがな燃費が良く維持費が安い。それでいて300hpを超えるパフォーマンスは旧型のV8に匹敵する。また、スタイリングは伝統的なロングノーズ&シヨートデッキを主軸に、ローリーフでワイドシルエットを強調させた優雅なプロポーションを実現。50年の時を経て正常進化を遂げた次世代マスタングに相応しい内容となっている。
現車は6・2万kmで当時の正規

ディーラーモデル、レクサーニ20インチの換装以外はオリジナルをストックしており、これからカスタムを施すベースカーとしてはもちろん、現状のまま乗っても雰囲気の良い個体。旧車の価格が上昇傾向な昨今、お手頃な価格帯で長く愛用できるアメ車といえは自ずと選択肢は限られてくる。
そんな中でアメ車大排気量の図式を深くアップデートさせて、次世代のアメ車を潔く受け入れてみるのも悪くない。むしろ今までV8信者だったベテランアメ車フリークたちにも意図的に勧めて乗ってもらいたい位だ。FR駆動のセレクトシフト付き6速AT、2.3ℓ直4DOHCターボのスペックだけを見ると、実際に運転席に座って操ってみる感覚はまったく異なる。期待値を超えて満足させるだけのアメ車らしさを感じ取れるはずだ。
進化を遂げた次世代アメリカンマッスルカーの素晴らしさをこの50イヤーズエディションのマスタングで体感してみたい。

楽しんで
楽 MUSTANG

